

みなさんは、もしこの一年間にタイトルをつけることができるとしたら何にしますか。少し考えてみてください。私がもしタイトルをつけるとしたら、「努力について考えた一年」とつけます。中学生になり、部活が始まりました。鎧のような防具を付けた先輩方に目を奪われ、私は剣道部に入部しました。剣道をしたことがなかったため、右も左もわからない状態の私は、道着を着ることすらできませんでした。練習は、防具を付けずに素振りをする事から始まりました。毎日毎日竹刀を振ります。素振りには気をつけなければいけないポイントがいくつもあります。私はそれができませんでした。何度も何度もしないよう竹刀を振りますが、自分の中で納得いきません。もともと剣道をやっていた友人との差を感じていた私を、ミンミンとうるさいセミの音が焦らせました。このままやっていて上手になれるだろうかと思い始めたころ、三年生の先輩に声をかけられました。「素振りは上手になったね。その調子でがんばろう。きっと誰かが見てくれているよ」先輩は、昨日より少しだけ上達した私の素振りを褒めてくれました。あせらず一歩ずついこう。先輩のおかげでまたがんばる気力がわいてきました。まだまだへっぽこな私ですが、先輩がくれた「誰かが見てくれているよ」という言葉を忘れず、これからも竹刀を振っていこうと思います。そして私も先輩のように後輩の成長をしっかりと見守れる人間になっていきたいです。また、私もう一つ別のタイトルをつけるとしたら「興味」にします。

昨年、私は旭丘高校美術科の作品展を見に行きました。かみの色は緑や青なので、黒がみの人是一人もいませんでした。独特の世界観に圧倒されながらも、勇気をもって声をかけ、話を聞くことができました。作品の下にタイトルがあり、そのタイトルが個性的なものばかりで、とても興味をもちました。一つ一つの絵に思いがこめられていて、これまでの努力がよくわかりました。たくさん絵を描いて、絵を描くことを諦めなかったと言っていました。

私はこれから、後輩の成長をしっかりと見守れる先輩になっていくことと、1つのことを諦めずにがんばることのできる人間になることを目標に、立派な二年生になりたいです。